



報道発表

2023年5月31日

Quantum Simulation Technologies, Inc.への投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：楠美公）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2021 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP2 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業である Quantum Simulation Technologies, Inc.（以下「QSimulate」）（本社：米国ボストン、CEO：塩崎 亨）に対する投資を実行しました。

○今回の投資の概要

QSimulate は、塩崎 CEO が東京大学及びノースウェスタン大学で行ってきた量子化学計算の研究をもとにした事業を行うため 2018 年に設立した米国スタートアップで、材料設計や創薬分子設計用シミュレーションソフトウェアの開発を行っています。同社ソフトウェアは、実用に耐える時間内で高精度なシミュレーション結果を得ることができる優れたユーザーインターフェースを備えていて、これまで量子化学シミュレーションを使用していなかった部署へ活用を広げることができるとユーザー企業から評価されています。

QSimulate は、同社ソフトウェアの愛用者でもある京都大学理学研究科化学専攻の倉重佑輝准教授（理論化学講座）と共に、倉重准教授がこれまでの研究で生み出してきた量子化学計算アルゴリズムの導入や、求められる性質・機能から新分子を設計するアルゴリズムの共同研究開発を行い、材料設計・創薬分子設計のトータルソリューションの構築を目指しています。

京都 iCAP は、QSimulate の目指す材料設計・創薬分子設計のトータルソリューションが、日本・米国のみならずグローバルでの産業と技術革新の基盤となることを支援すべく、同社に対して 50 万ドルの投資を実行しました。QSimulate は今回調達した資金により、京都大学との共同研究実施及び国内顧客対応のための日本国内拠点を整備する計画です。

Quantum Simulation Technologies, Inc. 概要

設立	2018年4月
事業内容	量子化学シミュレーションソフトウェアの開発・サービス提供
本社所在地	米国マサチューセッツ州ボストン
CEO	塩崎 亨

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から



生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。当社は現在、総額 160 億円のイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）（2016 年 1 月設立）と総額 180 億円の KYOTO-iCAP2 号ファンド（2021 年 1 月設立）を運営しています。KYOTO-iCAP 1 号ファンドの満期は最長 20 年、KYOTO-iCAP 2 号ファンドの満期は最長 17 年に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、KYOTO-iCAP 2 号ファンドでは、一部資金を京都大学以外の国立大学発ベンチャーに投資することとしています。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当） 河野修己
TEL : 075-753-7588 FAX : 075-753-7592
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp